

城西大学水田記念図書館 図書館・学長室学務課（研究支援）共催 研究倫理講演会（著作権も含めて）

「研究と論文と不正」

日時：2026年6月2日（火）17:35～19:20

会場：オンライン（Zoom）

講師：時実象一先生（学術情報XML推進協議会理事）

参加者数：60名 アンケート回答者：54名（回収率 = 90.0%）

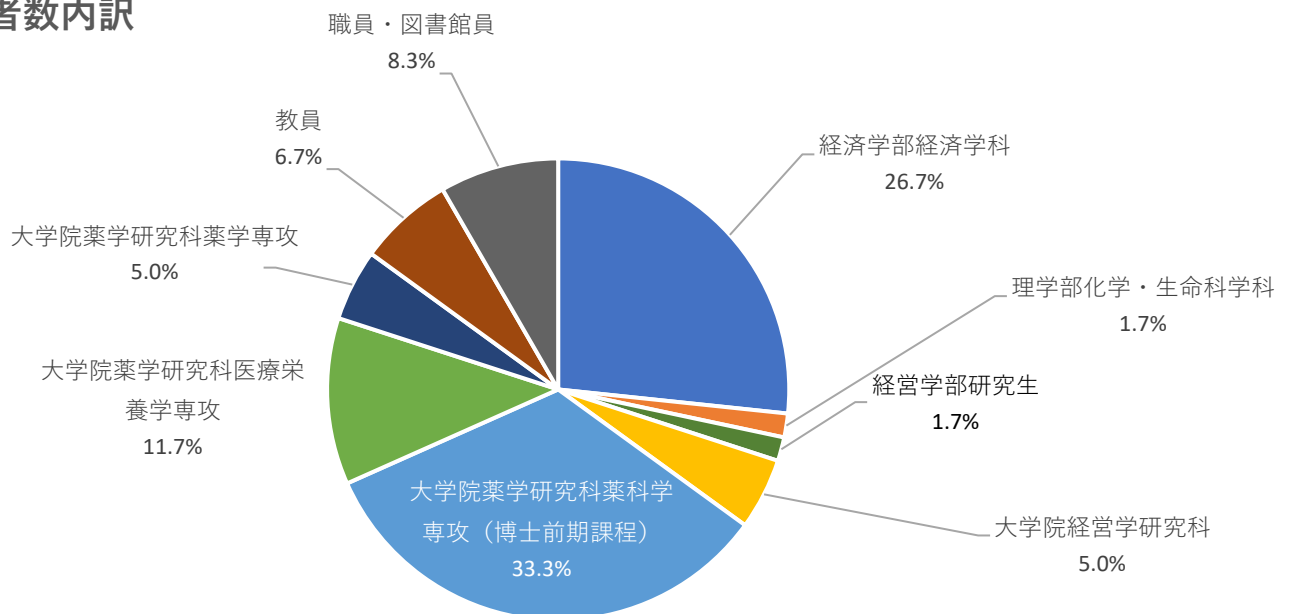
大学院薬学研究科「論文作成法特論」との連携で実施

参加者数内訳

単位（人）

経済学部経済学科	16
理学部化学・生命科学科	1
経営学部研究生	1
大学院経営学研究科	3
大学院薬学研究科薬科学専攻（博士前期課程）	20
大学院薬学研究科医療栄養学専攻	7
大学院薬学研究科薬学専攻	3
教員	4
職員・図書館員	5
合計	60

参加者数内訳

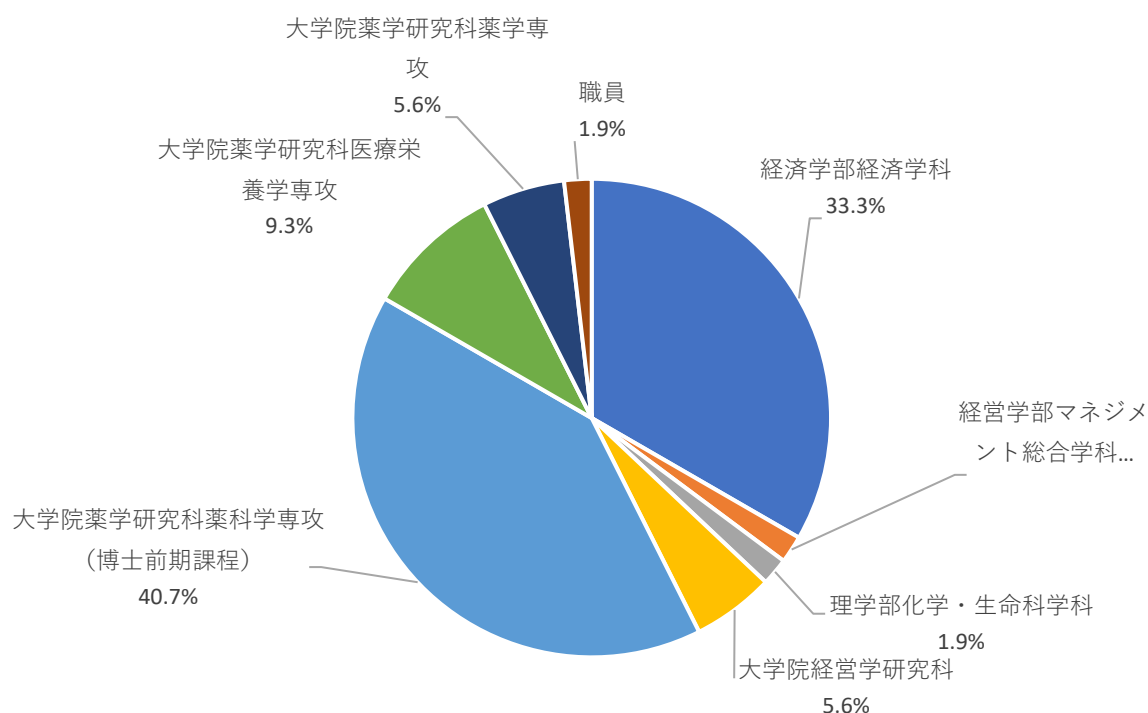


回答者数内訳

単位 (人)

	1年	2年	3年	4年	教員	合計
経済学部経済学科	5	5	3	4	1	18
経営学部マネジメント総合学科	0	0	0	0	1	1
理学部化学・生命科学科	0	0	0	1	0	1
大学院経営学研究科	2	1	0	0	0	3
大学院薬学研究科薬科学専攻 (博士前期課程)	22	0	0	0	0	22
大学院薬学研究科医療栄養学専攻	5	0	0	0	0	5
大学院薬学研究科薬学専攻	3	0	0	0	0	3
職員						1
	37	6	3	5	2	54

回答者数内訳

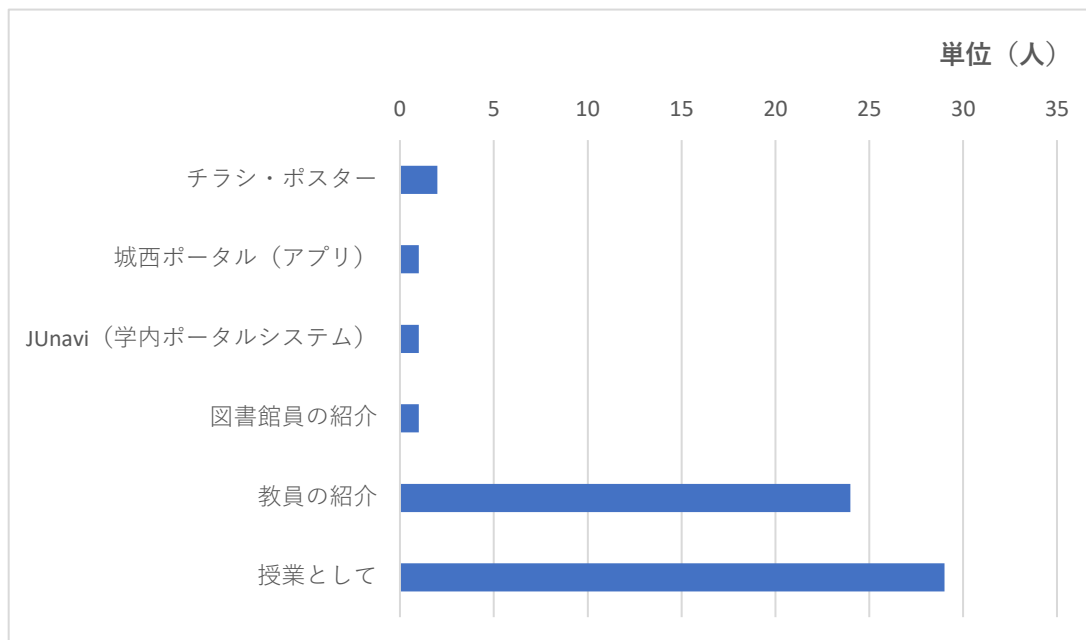


※回答者数については、所属学部の誤答と思われるものを含む

1) 今回の講演会を何で知りましたか？（複数回答可）

単位（人）

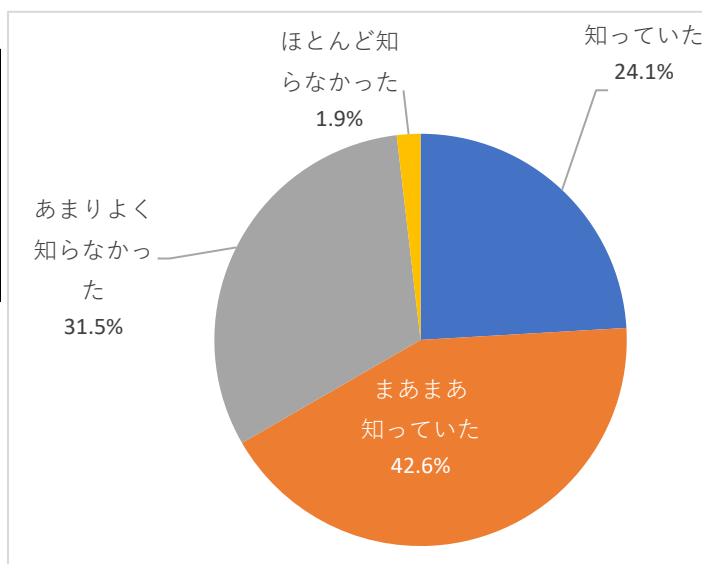
チラシ・ポスター	2
城西ポータル（アプリ）	1
JUnavi（学内ポータルシステム）	1
図書館員の紹介	1
教員の紹介	24
授業として	29



2) 今回の講演を聴く前に、研究倫理・著作権・剽窃についてどの程度知っていましたか？

単位（人）

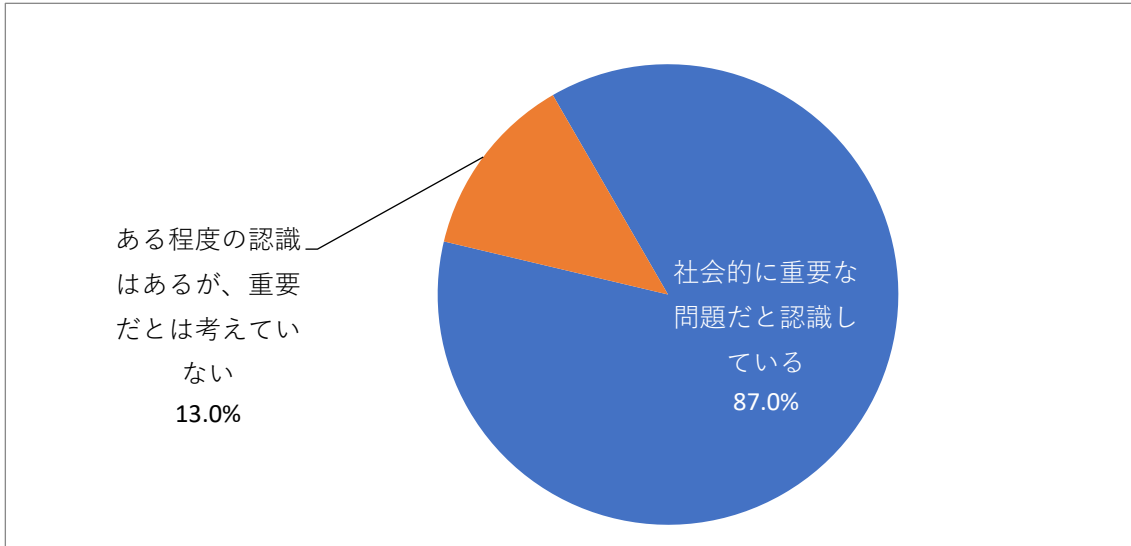
知っていた	13
まあまあ知っていた	23
あまりよく知らなかった	17
ほとんど知らなかった	1
合計	54



3) 論文執筆に係わる剽窃等が社会的な問題となっていることについて、どのような意識をもっていますか？ 最も近いと思うものをひとつ選んでください

単位 (人)

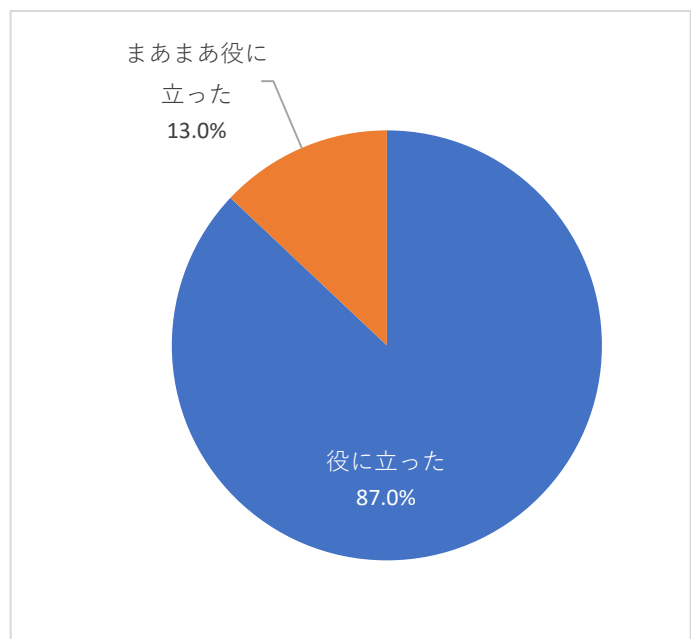
社会的に重要な問題だと認識している	47
ある程度の認識はあるが、重要だとは考えていない	7
自分とはあまり関係のないことだ	0
まったく意識や関心をもっていない	0
合計	54



4) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位 (人)

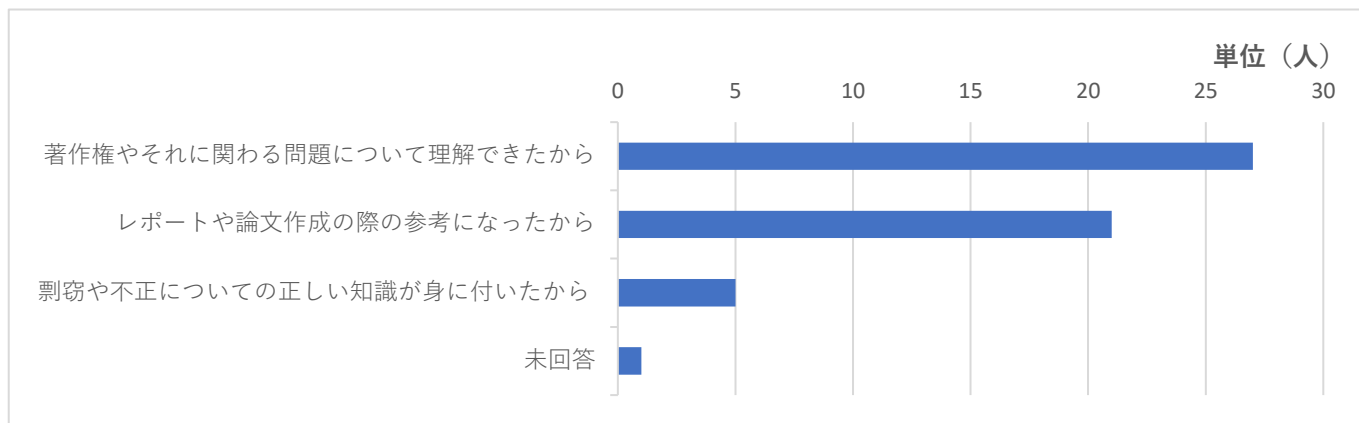
役に立った	47
まあまあ役に立った	7
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
合計	54



4)-1 「役に立った」「まあまあ役に立った」を選んだ理由は何ですか？

単位（人）

著作権やそれに関わる問題について理解できたから	27
レポートや論文作成の際の参考になったから	21
剽窃や不正についての正しい知識が身に付いたから	5
未回答	1
合計	54



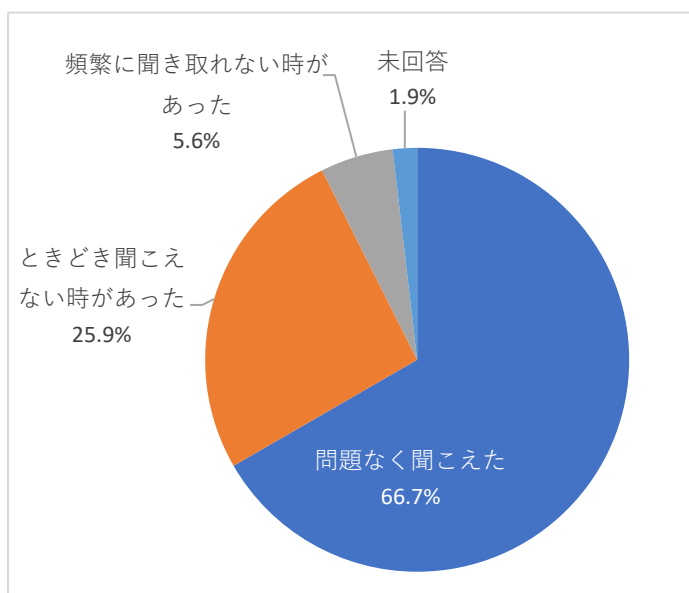
4)-2 「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」を選んだ方は、理由があればお書きください

回答なし

5) オンラインでの音声は聞き取りやすかったですか？

単位（人）

問題なく聞こえた	36
ときどき聞こえない時があった	14
頻繁に聞き取れない時があった	3
まったく聞き取れなかった	0
未回答	1
合計	54



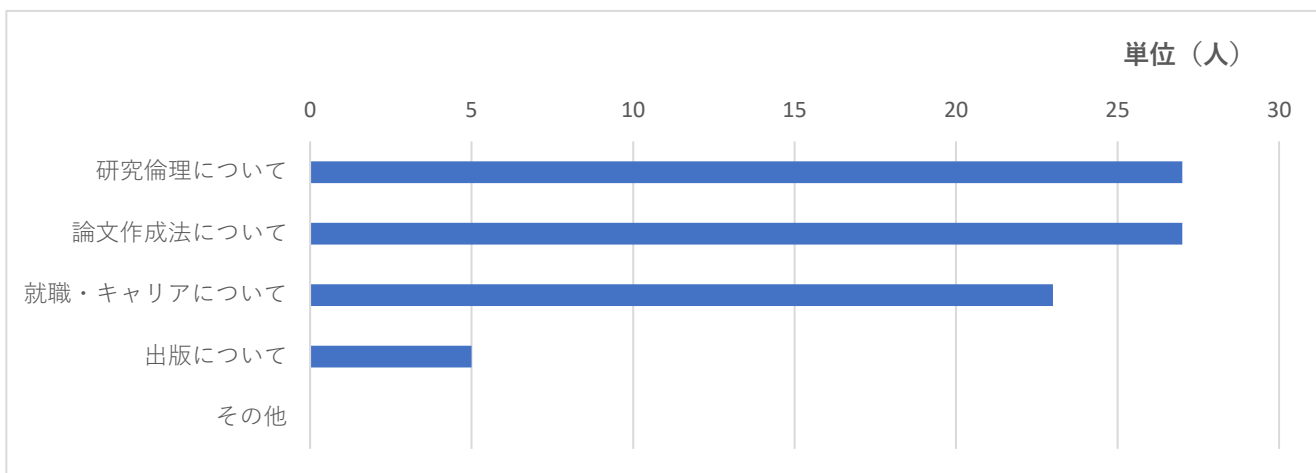
6) 今後、図書館のどのような講演会・講習会に参加してみたいですか？（複数回答可）

単位（人）

研究倫理について	27
論文作成法について	27
就職・キャリアについて	23
出版について	5
その他	0

その他内訳

なし



7) 今回の講演に関して、ご意見・ご感想をお書きください

とても勉強になりました。	2
著作権に関わる問題について深く学ぶことが出来た。	1
とても貴重な話が聞けて良かった。	1
貴重なお話を聞けて良かった。今後の卒業論文等の作成時に気を付けようと思った。	1
今まで、著作権について理解しているつもりでしたが、自分が知らないような知識もあり社会問題とも関わっており、とても良く理解できました。ありがとうございました。	1
今まで知らなかった生成AIの使い方などが分かって良かったです。ありがとうございました。	1
今回の講演で、AIが発達していく中、論文作成との付き合い方を学びました。使い方をよく考えて活用しようと思いました。正しい知識を身に付けることが大事だと感じました。	1
今回の講義を通して、AIは私たちの身近な場面で便利に活用できる一方で、その利用には十分な注意が必要であると感じました。私自身も日常的にAIを利用する機会がありますが、特に論文やレポートなどの正式な文書を作成する際には、AIが生成した情報をそのまま使用するのではなく、内容の正確性や信頼性を確認することが重要であると学びました。今後はAIの利便性を活かしながらも、その特性やリスクを理解し、適切に活用していきたいと思います。	1
今後の参考になりました。	1
今後の人生で必ず役立つお話だと感じました。	1
正しく引用することが何より大切。	1
窃盗と引用の違いがわかりました。生成AIで論文も作れてしまうというのは、驚きました。今後論文を書くときなどに今回教えていただいたことを意識したいです。今回はありがとうございました。	1
他の研究者の方の時間を無駄にさせないためにも研究不正になってしまう行動をとることが無いように肝に銘じたい。	1
著作権に関する授業でここまで細かくすることがなかったので貴重な時間だと感じた。	1
捏造、盗用は言葉でしか聞いたことがなく、しっかりと教えてもらったのはとてもいい機会でした。ありがとうございました。	1